

家畜用の飼料穀類の鳥被害対策



鳥害対策用品

51 撃退ドットマン

■お問い合わせ
株式会社ルシフェル
〒816-0888 福岡市博多区板付4-3-3-203
TEL: 092-586-6691 <http://www.lucifer2010.com>

口蹄疫の感染拡大が止まらない。様々な対策にも関わらず、その勢いは止まることを知らない。感染経路は不明だが、中国や韓国での口蹄疫発生との関係性が指摘されている。海峡を隔てた日本の防疫にも、広域的視野での対応が求められている。口蹄疫に隠れて印象は薄かったが共同通信によれば、中国衛生省は本年6月4日、湖北省鄂州市内の女性が高病原性鳥インフルエンザ（H5N1型）ウイルスに感染し、3日未明に死亡したと発表している。

翼のある鳥類は、麦わらなど違い自由に海峡を越えてくる。08年に秋田県の十和田湖畔で回収された白鳥の死骸3羽から、同型の鳥インフルエンザウイルスが検出されていた。鳥獣害対策は今に始まったわけではないが、最近ではパンデミック対策という新しい意味もあるだろう。「撃退ドットマン」は、鳥に距離感を錯覚させて警戒心を起こさせる模様を付けた資材で、テープタイプと3Dパネルタイプがある。黄色や黒

などを組み合わせたこの模様は、自然界では猛毒を持つ蛇などの体色と同色と認識されており、鳥が視覚的に恐怖を感じるものとなっている。さらに、テープが風に揺れることで視覚的混乱も招くという。テープタイプにはポリカーボネートタイプとハードコートタイプがあり、いずれも取り付けが簡単なのが特徴。

殺傷するものではないので100%完全に忌避できることはないが、畜舎や工場などで、テープを短冊状にぶら下げるだけで鳥が寄り付かなくなる効果が確認されている。

しかし、パネルタイプは屋根に設置すると広範囲の鳥に対応できる一方、片面タイプでも1万3650円（税込。以下同じ）と高価な上、取付工事にも費用がかかることから、牛舎など縦横数十メートルにもなる大規模な建物では大量に使用するとコスト面で農家に負担がかかるなどの課題もあった。

そこで、新たに開発したテープタイプは、ベーシックタイプで幅5cm×長さ20mで2730円、5cm×50



mで6090円、破れにくいハードコートタイプは5cm×50mで8190円と、安価に抑えている。

さらに、パネルを一枚ずつ分解して網に取り付けた網タイプ（価格未定）や、パネルとテープを組み合わせたまといタイプ（4410円）、工場・倉庫入口用（シングル4410円、ダブル6090円）も開発、これまでに果樹や畜舎、ライスセンターなどへの納入実績があり、いずれも好評で追加注文も多いという。

設置の目安として、実際に飼料穀類の鳥被害対策として使っている畜舎を基にすると、屋根にパネルタイプを5〜8m間隔で、畜舎の周囲にまといタイプを5〜10m間隔で、工場・倉庫入口用を入口に2m間隔でそれぞれ配置することで効果が期待できるとしている。

鳥が原因のひとつとされている病気の中には人間にも感染する危険性の高いものも多いことから、病院や学校、住宅などからも引き合いがあるという。

宮崎だけでなく隣県でも警戒体制が進むなど、口蹄疫感染拡大のおそれが増える状況の中、鳥の媒介による感染を防ぐ意味からも、鳥害防止対策は今後とも関係者の関心を集めそうだ。

（門馬照久）